

福井県は十九日、新型コロナウィルスの感染拡大による影響でマスクの品不足が続いていることを受け、ドラッグストア「ゲンキー」（坂井市）の県内六十四店舗でマスクを買うことができる購入券を、県内で販売の約二十八万九千世帯に配布すると発表した。マスク五十枚入り一箱（税込み二千三百五十円）を二箱まで購入できる。二十二日から順次郵送する。

県によると、都道府県単位でマスクの購入をあっせんするのは全国で初めて。県が十四日にまとめた新規型コロナウィルスの総合対策で県内全世帯のマスク確保を掲げ、準備を急いでいた。県内全市町に店舗を構

全世帯にマスク購入券

県、23日から郵送
えるゲンキーの協力を得たほか、輸入などを手掛けるフジコンコープレーション（鯖江市）など二社に依頼しマスクを確保した。

県は既に三十万箱を確保。大半の世帯がマスクを一箱買った場合は在庫が不足することになるが、手作りのマスクを使う県民もいることから需要が読めない状況で、販売を開始してから状況を見てマスクの追加確保を検討する。

購入券はピンク色のはがき一枚で、二十四日（予定）から五月十日にゲンキーワークのレジで提示すれば指定のマスクを購入できる。在庫の都合があるた

め、居住する市町にある店舗での購入が原則となる。転売は禁止。

県創業・経営課の担当者は「安心して購入できる数量を確保する。コロナウイルス対策の県民行動指針に基づき慌てずに行動してほしい」と呼び掛けている。ゲンキーは「商品は十分に用意するが、数日に分けて店に納品されるので一時的に欠品する場合がある」としている。

県は二十二日から購入券に関する電話問い合わせ窓口の「県マスクプロジェクトセンター」を開設する。時間は午前九時～午後五時で、休日も対応する。0776(20)0749。

(今井智文)